

976. Erdős / 問題 = 就イテ

近藤 基吉(北大)

本誌 / 第二〇五号 = 掲載サレタ角谷氏 / 書簡 / 中 = 二
三ノ問題類ガ出テ居テ、ソノ一ツガ Erdős / 提出シタ

「 $0 \leq x, y \leq 1$ ナル square 内 / measure 1 /
集合ヲ如何ナル $X + Y$ (但シ、 X, Y / 濃度ハ何レモ con-
tinuum) ナル形ノ集合ヲ含マナイモノガ存在スル
カ」

デアル。コトデ $X+Y$ の意味がヨク判ラナイが先ヲ *vector sum* 即チ X の点 (a, b) ト Y の点 (c, d) トカラ作ラレル $(a+c, b+d)$ の全体カラナル集合ニ考ヘルト、
 G. Cantor の *hypothese du continu* 下ニコレが否定的ニ解決サレル。先ハムツカシイコトデハナク、次ノ又ウニスレバト合デアアル。初メニ正方形 $R: 0 \leq x, y \leq 1$ ニ交換。

$$\theta: x' = x - \frac{1}{2}, \quad y' = y - \frac{1}{2}$$

ヲ施シテ考ヘル。 E ヲ R ニ含マレル測度ノ可測集合トスルトキニ、 θ ニ依ツテ E ハ $\theta(E)$ ニ移ル。ソコデ $\theta(E)$ ノ中ニ濃度式ノ集合 Z ヲ作ツテ $Z + Z \subseteq \theta(E)$ 成立ツヌウニスル。其ノ仕方ハ先ヅ Z_1 ヲ $\theta(E) \cdot \frac{1}{2} \theta(E)$ ノ中ニ選テ ($\theta(E)$ ノ可測性カラコレハ可能) スルト $Z_1, 2Z_1 \in \theta(E)$ デアル。今 Z_β ($\beta < \eta < \aleph_1$) が $\theta(E)$ ノ中ニ選バレテ

$$Z_\beta + Z_\gamma \in \theta(E) \quad (\beta, \gamma < \eta)$$

が成立ツトスル。次ニ

$$\theta(E) \cdot \frac{1}{2} \theta(E) \cdot \prod_{\beta < \eta} (-Z_\beta + \theta(E))$$

ヲ作ル。 $\theta(E)$ ノ可測性カラコレハ空デナイ。此ノ中ノ一点ヲ Z_η トスル。スルト

$$Z_\eta \in \frac{1}{2} \theta(E) \quad Z_\eta \in -Z_\beta + \theta(E)$$

カラ $Z_\eta + Z_\beta \in \theta(E)$ ($\beta \leq \eta$) デアル。此ノ様ニシテ選

バレル Σ_β ($\beta < \aleph_1$) の全体ヲ各トスレバ $\Sigma + \Sigma \subseteq \Theta(E)$
ハ明カデアアル。トコロヲ

$$\Theta(E) = \left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}\right) + E$$

デアアルカラ、 $-\left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}\right) + \Sigma + \Sigma \subseteq E$ が成立ツ。故
ニ $X = -\left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}\right) + \Sigma$, $Y = \Sigma$ トスレバ $X + Y \subseteq E$ 。
シカモ X, Y ノ濃度ハ共ニ \aleph_1 デアル。今 $2^{\aleph_0} = \aleph_1$ ノ假
定スレバ X, Y ノ濃度ガ continuum トナリ Erdős ノ
問題ガ否定的ニ解決サレル。

此処デ $2^{\aleph_0} = \aleph_1$ ノ假定ガ取レレバヨイガ、此方法デ
ハ困難デアアル。但シコノ假定ヲ「測度 0 ノ集合ノ Σ_β (但
シ $\aleph_\beta < 2^{\aleph_0}$) 但ノ和ハ又測度 0 デアル」デ置換ヘルコト
ガ出来る。

次ニ、今考ヘタ問題デハ正方形 $0 \leq x, y \leq 1$ ノ殆ン
ド凡テノ点ヲ含ム集合 E ヲ考ヘタノデアアルガ、ソノ代リニ
平面上ノ殆ンド凡テノ点ヲ含ム集合ヲ考ヘルト次ノマウナ
事ガ云ハレル。

「 E ヲ平面上ノ殆ンド凡テノ点カラナリ、シカモ原
点 0 ヲ含ム集合トスルトキニ、 E ニ含マレ、濃度ガ 2^{\aleph_0}
デ、非可測デ、シカモ有理数体ニ関シテ modul η ナス
モ 1 ガ存在スル (但シ $2^{\aleph_0} = \aleph_1$ ノ假定スル)」

証明 有理数ノ全体ヲ無限系列ニ列ベテ

$$r_1, r_2, \dots, r_n, \dots$$

トスル。次ニ平面上ニアル測度 > 0 ノ有界完全集合ノ全

体ハ濃度ガ 2^{\aleph_0} デアルカラ、 $2^{\aleph_0} = \aleph_1$ = 依ッテ、此等
 7 Ω -sequence

$$P_1, P_2, \dots, P_\alpha, \dots \quad (\alpha < \Omega)$$

= 列ベルコトガ出来ル、其処ヲ点列 Z_α ($\alpha < \Omega$) 7 次、
 様 = 定義スル。 $\prod_{n=1}^{\infty} \aleph_n E \wedge E$ ノ 性質カラ 平面上ノ 殆ンド

凡テノ 点ヲ 含ム。 夫故 = $P, \prod_{n=1}^{\infty} \aleph_n E \wedge E$ 又 空デナイ。 此中ノ
 一 点ヲ Z, τ スル。 スルト

(1) $Z, \in P,$

(2) \aleph 7 任意ノ 有理数 τ スルトキ = $\aleph Z, \in E$ ガ 成立

ツ。

今 Z_β ($\beta < \aleph < \Omega$) ガ 定義セラレテ

(3) $Z_\beta \in P_\beta$

(4) $\aleph_1 Z_{\beta_1} + \aleph_2 Z_{\beta_2} + \dots + \aleph_n Z_{\beta_n}$ (\aleph_k 有理数
 $\beta_k < \aleph$) ノ $E =$ 含マレル。

ガ 成立ツトスル。 其処ヲ

$$\prod_{\beta_k < \aleph} (\aleph_1 Z_{\beta_1} + \aleph_2 Z_{\beta_2} + \dots + \aleph_n Z_{\beta_n} + E)$$

ヲ 作ル。 $\aleph_1 Z_{\beta_1} + \dots + \aleph_n Z_{\beta_n}$ ノ 集合ハ 可附番デアルカラ、

此ノ 集合ハ 平面上ノ 殆ンド 凡テノ 点ヲ 含ム。 今コレ = 含マ
 レ、シカモ $P_\aleph =$ 含マレル一 点ヲ Z_\aleph トスル。 然ルトキ =

ハ $\aleph_1 Z_{\beta_1} + \dots + \aleph_n Z_{\beta_n} + \aleph Z_\aleph$ ($\beta_k < \aleph$) ノ $E =$ 含マレ

ル。 夫故 = 此ノ 様 = シテ 得ラレタ Z_\aleph ($\aleph < \Omega$) ノ 全体カラ

作ラレル modul \aleph 7 考ヘレバ、 $\aleph \leq E$ ガ 成立チ、シ

カモ M の濃度ハ 2^{\aleph_0} デアル。

次ニ M が非可測デアルコトヲ示ス。 M の外測度ガ 0 デナイコトハ平面上ノ凡テノ測度 > 0 ノ有界完全集合ト M トガ素デナイコトヨリ明カデアル。次ニ M が可測デアルトスレバ、原点ヲ通ル直線 L ヲ適當ニ選ンデ $M \cap L$ ガ *linear measure* > 0 ノ完全集合ヲ含ムヤウニ出来ル。然ルトキニハ H. Steinhaus ノ定理カラ L ノ凡テノ点ハ M ニ含マレルコトニナル。従ツテ初メカラ E ヲ修正シテ E ガ原点ヲ通ル直線ヲ含マナイ様ニシテ置ケバ (例ハ E ノ中心トシ半径 1 ノ円周上ノ点ヲ除ク) E ニ含マレル M モ亦原点ヲ通ル直線ヲ含マナイコトニナリ、従ツテ M ハ非可測デアル。 (証明完了)

トコロデ、*Modul* = 対シテ此ノ様ナコトガ云ハレルト *Körper* = 對シテハドウカト云フ問題ガ起ツテ来ルコレニ對シテハ

「 E ヲ *Gauss* 平面上ノ殆ンド凡テノ点ヲ含ミ且ツ凡テノ *real* ノ有理數ヲ含ム集合トスル時ニ、 E ニ含マレル濃度 2^{\aleph_0} ノ体デ *Gauss* 平面上ノ任意ノ測度 0 ノ集合ト高々可附番個ノ要素ヲ共有スルモノガ存在スル ($2^{\aleph_0} = \aleph_1$ ヲ假定スル)」

証明。 *Gauss* 平面上ニアル測度 0 ノ G_δ 集合ノ全体ハ濃度ガ 2^{\aleph_0} デアルカラ、 $2^{\aleph_0} = \aleph_1$ ニ依ツテ此等ノ集合ヲ Ω -sequence.

$\Omega_1, \Omega_2, \dots, \Omega_\alpha, \dots$ ($\alpha < \Omega$)

= 列べるコトが出来ル。又 Gauss 平面上、凡テ、点ハ
 $2^{\aleph_0} = \aleph_1$ = 依ッテ Ω -sequence.

$$x_1, x_2, \dots, x_\alpha, \dots \quad (\alpha < \Omega)$$

= 列べる事が出来ル。某処デ $\{x_\alpha\}$ ($\alpha < \Omega$) テ帰納法 = 依
 ッテ次ノ様ニ定メル。

有理数ヲ係数トスル有理函数ノ全体ハ \aleph_1 テアル。今
 夫等ヲ

$$R_1(x), R_2(x), \dots, R_n(x), \dots$$

トスル。某処デ $E_{\aleph_1} \{R_n(x) \in E - Q_1\}$ ヲ考ヘル。 $E - Q_1$
 ハ Gauss 平面上、殆ンド凡テ、点ヲ含ムカラ。此
 ノ集合ニ Gauss 平面上、殆ンド凡テ、点ヲ含ム。
 夫故ニ

$$\prod_{n=1}^{\infty} E_{\aleph_1} \{R_n(x) \in E - Q_1\}$$

ハ空デナイ。此集合ノ一点ヲ α_1 トスル。然ルトキニ、ハ定
 義カラ

$$(1) \alpha_1 \in E - Q_1$$

$$(2) R_n(\alpha_1) \in E$$

デアアル。

次ニ Σ_α ($\alpha < \eta < \Omega$) が既ニ定義セラレタトスル。

Σ_α ($\alpha < \eta$) 全体ノ集合ヲ Σ_η ト置キ

$$S_\eta = \sum_{\alpha < \eta} Q_\alpha$$

トスル。 $\Sigma_\eta + S_\eta$ ハ又測度 0 ノ集合デアアル。トコロデ

$\mathcal{R}(Z_\alpha(x, \eta))$ (有理数体 = $\mathcal{Q}_\alpha(x, \eta)$ を *adjoin* して得られる体) の係数域 トスルル、有理函数ノ全体ハ可附番個デアアル。夫等ヲ

$$R_1^*(x), R_2^*(x), \dots, R_n^*(x), \dots$$

トスル。 $Z_\eta + S_\eta$ ハ測度 0 デアルカラ $E - (Z_\eta + S_\eta)$ ハ又 Gauss 平面上ノ殆んど凡テノ点ヲ含ム、夫レ故ニ $E_{\text{me}} \{R_n^*(x) \in E - (Z_\eta + S_\eta)\}$ ハ又 Gauss 平面上ノ殆んど凡テノ点ヲ含ム。従ツテ

$$\prod_{n=1}^{\infty} E_{\text{me}} \{R_n^*(x) \in E - (Z_\eta + S_\eta)\}$$

ハ空ヲトイ。コノ中ノ一ノ点ヲ Z_η トスル。然ルトキニハ

$$(3) R_n^*(Z_\eta) \in E$$

$$(4) R_n^*(Z_\eta) \in \mathcal{Q}_\alpha(x, \eta)$$

ガ成立ツ。此様ニシテ得ラトタ Z_η ($\eta < \delta$)、全体カラ作ラレル体 \mathcal{R} ガ求メルニデアアル。夫レハ此ノ様ニシテ判ル。 \mathcal{R} ノ濃度ガ 2^{\aleph_0} デアルコトハ $2^{\aleph_0} = \aleph_1$ ヨリ明カデアアル。又、 $\mathcal{R} \subseteq E$ ノ成立ツコトハ自明デアアル。次ニ Gauss 平面上ニアル測度 0 ノ集合 F ヲ考ヘル。然ルトキニハ $F \subseteq \mathcal{Q}_\alpha$ ノ成立スル \mathcal{Q}_α ガ存在スル。従ツテ (4) ヨリ F ニ含マレル \mathcal{R} ノ要素ハ $\mathcal{R}(Z_\beta (\beta < \alpha))$ ニ属スル。此ノ事カラ $\mathcal{R} =$ 含マレル \mathcal{R} ノ要素ノ集合ハ商々可附番デアアル。即チ \mathcal{R} ガ求メル体デアアル。 (証明完了)

此処ニ「測度 0 ノ集合トハ商々可附番個ノ点ヲ共有スル」ト云フ条件ノ説明ヲシナシレバ判ラナイヲモ知レナ

イガ、コレハ *W. Sierpinski's* = 依ッテ性質 (S)
ト呼バレルモノデ、コレカラ仲々面白いコトが云ハレ
ル。

「 \mathcal{R} ノ元ヲ、非可附番部分体ハ非可測デアール、従ッテ
 \mathcal{R} 自体ニ非可測デアール」

証明。 \mathcal{R} ヲ \mathcal{R} ノ非可附番部分体トスルトキニハ性
質 (S) = 依ッテ測度 > 0 デアール、ソレ故ニ \mathcal{R} ガ可測デ
アレバ、 \mathcal{R} ノ測度ハ正トナリ、従ッテ \mathcal{R} ノ中ニ測度 0
ノ完全集合ガ含マレナケレバナラナイ、コレハ性質 (S)ニ
矛盾スル。故ニ \mathcal{R} ハ非可測デアール。 (証明完了)

夫レテハ \mathcal{R} ノ中ニ非可附番部分体ガ存在スルデアラ
シカ、コレニ対シテ

「 \mathcal{R} ノ中ニ 2^{\aleph_0} 個ノ互ニ相異ル非可附番部分体ヲ作ッ
テ、相異ルニツカ *real*ノ有理数ノミヲ共有スルモノニ出
来ル。」

証明⁽¹⁾ \mathcal{R} ノ濃度ハ 2^{\aleph_0} デアールカラ、其ノ要素ヲ
 Ω -sequence ($\Omega \subset \mathcal{R}$ ハ濃度 2^{\aleph_0} ノ最小ノ順序
数)

$$x_1, x_2, \dots, x_\alpha, \dots \quad (\alpha < \Omega)$$

ニ列ズルコトガ出来ル。其処カ $\Sigma_{\alpha\beta}$ ($\alpha \leq \beta < \Omega$)ヲ次
ノマヨニ定ムル。先ツ $\Sigma_{11} = x_1$ ト置ク。今 $\Sigma_{\alpha\beta}$ ($\alpha < \xi$)
及ビ $\Sigma_{\xi\beta}$ ($\beta < \eta$)ガ定数トラレタトスル。然ルトキニ
ハ $\mathcal{R}(\Sigma_{\alpha\beta} (\alpha < \xi), \Sigma_{\xi\beta} (\beta < \eta))$ ノ濃度ハ 2^{\aleph_0} ヨリ

(1) 守屋美賀雄氏ニ負フ所が多い。

小デアル。従ッテ此体 = コレ = 閉スル凡テノ代数的數ヲ附加シテ得ラレル体モ濃度 < 2 也デアル。故ニ Σ_n / 中 = 此ノ新シイ体 = 含マレヌ E / が存在スル。其ノ中デ指數ノ最小ノ E / ヲ Σ_{∞} トスル。コノ様ニシテ得ラレタ Σ_{∞} = 封シテ体 $R(\Sigma_{\infty})$ ($\Sigma: \text{fix}$) / 全体ヲ考ヘル。コレが求ムル部分体デアルコトハ明カデアル。 (証明完了)

次ニ R / 類 = 閉スル性質トシテハ

「 R ハ *toujours de première catégorie* デアル。即チ任意ノ完全集合 = 閉シテ R ハ第一類デアル」

証明。今 P ヲ Gauss 平面上ニアル完全集合トスル。 P / 測度ガ 0 / 時 = ハコレハ高々可附添デアルカラ、 P / R ハ勿論 P = 於テ第一類デアル。次ニ P / 外測度 > 0 / 時ヲ考ヘル。コノ時 = ハ P / *mesure* H ヲ定メテ $H \subseteq P$ ト出来ル。然ルニ H / 中 = 測度 > 0 / *non dense* / 完全集合ガ存在スル故ニ第一類集合 J ヲ定メテ $H - J$ ガ測度 0 デアル様ニ + シ得ル。従ッテ

$$P \cap R = P \cap R \cap J + P \cap R \cap (H - J)$$

が成立シ、 $P \cap R \cap (H - J)$ ハ高々可附添デアルカラ $P \cap R$ ハ又 P = 於テ第一類デアル。即チ、 R ハ *toujours de première catégorie* デアル。 (証明完了)

此ノ事カラ E / 中 = 非可測デ第一類ノ体ノ含マレルコトガ判ツタガ、同様ニシテ E ガ Gauss 平面ノ到ル所ヲ第二類デシカモ *Baire* / 性質ヲ有スルトキ = 。 E / 中 = *Baire* / 性質ヲ有シナイテ測度 0 / 体ガ存在スルコト

が示サレル。又

「 E が *gauss* 平面上ノ殆ンド凡テノ点ヲ含ミ到ル所第ニ類デシカモ *Baire*ノ性質ヲ有スナレバ、 E ノ中ニ非可測ヲ *Baire*ノ性質ヲ有シタイ体が存在スル (2^oニミテ、ヲ假定スル)」

が云ハレル。

此様ナ事ヲ續ケテ行クト更ニ結果が出セルガ、此処ニハコレカケニ止メテ置キタイト思フ。

追記: 性質(S)ヲ有スル体ノ存在ニ関シテハ

「 E ヲ非可測ノ体トスル時ニ、 E ニ含マレ凡ト同ジ *massgleichlute*ヲ有シ、シカモ性質(S)ヲ有スル体が存在スル。」

が成立スルノデ、コレヲ使ッテ E ノ中ニ性質(S)ヲ有スル体ノ存在ヲ示スノが常道ヲアルト思フ。此命題ハ次ノ様ニシテ証明セラレル。

E ノ要素ヲ Ω -sequence

$$x_1, x_2, \dots, x_n, \dots \quad (n < \Omega)$$

=列ベ、 E ノ *massgleichlute* = 含マレル測度0ノ G ノ集合。測度 > 0 ノ完全集合ヲ夫々 Ω -sequence

$$Q_1, Q_2, \dots, Q_n, \dots \quad (n < \Omega)$$

$$P_1, P_2, \dots, P_n, \dots \quad (n < \Omega)$$

=列ベル。其処ニ \mathcal{R}_n ($n < \Omega$)ヲ次ノ様ニ定メル。

有理数ヲ係数トスル x ノ有理函数ヲ列ベテ

$$R_1(x), R_2(x), \dots, R_n(x), \dots$$

トスル。其処ヲ $\sum_{n=1}^{\infty} E_{ns} (R_n(x) \in Q_1)$ ヲ考ヘル。コレ

ハ測度 0 デアル。従ツテ、コレ = 含まレタイ P, R 、無
 x_γ ガアル。ソノ中デ γ 、最小ノ ϵ ノヲ z_1 トスル。明
カ =

$$(1) R_n(z_1) \in Q_1$$

デアル。今 z_α ($\alpha < \eta < \Omega$) ガ定義セラレテ

$$(2) z_\alpha \in P_\alpha$$

$$(3) R(z_\beta \text{ ($\beta < \alpha < \eta$))} \text{ヲ係数域トスルカ、有理}$$
$$\text{函数 } R(x) = \text{對シテ } R(x_\alpha) \in Q_\beta \text{ ($\beta \leq \alpha$)}$$

ガ成立スルトスル。其処ヲ $R(z_\alpha \text{ ($\alpha < \eta$))} \text{ヲ係数域トス}$
ルカ、有理函数ヲ列ビテ

$$R_1^*(x), R_2^*(x), \dots, R_n^*(x), \dots$$

トスル。然ルトキニハ

$$S = \sum_{n=1}^{\infty} E_{ns} (R_n^*(x) \in \sum_{\alpha \leq \eta} Q_\alpha)$$

ニ測度 0 デアル。今 $P_\eta R =$ 含まレテ $S =$ 含まレタイ要
素 x_η ガ存在スル。ソノ中デ γ 、最小ノ ϵ ノヲ z_η トス
ル。然ル時ニハ

$$(4) z_\eta \in P_\eta$$

$$(5) R_n^*(z_\eta) \in Q_\alpha \text{ ($\alpha \leq \eta$)}$$

デアル。此様ニシテ與ヘラレル z_α ($\alpha < \Omega$) ガ作ラレル
体ガ求メルモノデアルコトハ前ノ時ト同様デアル。

(証明完了)

此処デ尚一ツ注意シテ置キタイコトハ

「 Gauss 平面ト同シ Massgleichläule ヲ有シ、
real, 有理数ヲ含ム集合 E デ \mathcal{R} (有理数ヨリ成ル体)
以外ニ体ヲ含マナイモ、カ存在スル。」

デアル。コレヲ証明スルタメニ測度 > 0 ノ完全集合ヲ Ω_c -
sequence = 列ビテ

$$P_1, P_2, \dots, P_\alpha, \dots \quad (\alpha < \Omega_c)$$

トスル。 P_i ノ一点ヲ取トスル。 Σ_α ($\alpha < \eta < \Omega_c$) カ定
義セラレテ (1) $\Sigma_\alpha \in P_\alpha$, (2) 0, Σ_α ノ定ムル直線カ互ニ
相異ルトスル。今直線 0 Σ_α ($\alpha < \eta$) 上ニ +イ P_η ノ一
点ヲ取トシ $\mathcal{R} + \sum_{\alpha < \Omega_c} (\Sigma_\alpha)$ ヲ考ヘル。コレカ求ムル集合
デアルコトハ容易ニ判ル。